

お便りください

このコーナーは、皆さんの意見や地域の問題をお届けしています
広報広聴課 ☎51-0123 内線2822へ御連絡ください

緊急避難所「かけこみ110番のいえ」



最近、全国的に子供たちが被害に遭う陰湿な事件が多発し、富士市でも強制わいせつ容疑事犯などが発生しています。こうした中、富士市PTA連絡協議会は、これに危機感を抱き、子供たちを犯罪から守ろうと、子供たちが被害に遭ったり、遭いそうになったりしたとき、駆け込むことができる緊急避難所の設置を決めました。

この緊急避難所として、中学校区を単位に、「常に在宅している家庭や商店」「通学路に面した所」などで協力していただける家を各小中学校のPTAが選定。最終的に、市内全体で約千九百カ所を目標に設置していきます。設置された避難所には、道路に面した所に、愛称名「かけこみ110番のいえ」とライオンのイラストがかかれています。プレートが掲示されており、一目でわかるようになっていきます。会長の稲葉邦文さん（入山瀬）



▲緊急避難所「かけこみ110番のいえ」の目印となるプレート

▼伝法の山田さんのお宅にプレートの掲示をお願いする稲葉さん（写真右）



は、「子供たちには、何かあったらぜひこのプレートを目印にして避難してほしいですね。PTA Aとしては、もっとPRしていくつもりです。そして、この緊急避難所が一つのきっかけとなって、地域の人たちみんなが子供たちを守っていくという気持ちになります。と話してくれました。」



日本社会人ボディビル選手権大会で
優勝を果たした

よしかず
山田 頼一さん

(津田)



山田さんは、去る九月に行われた日本社会人ボディビル選手権大会で見事優勝を果たしました。山田さんがボディビル

を始めたきっかけは、九年前太ってきた体を絞るためにトレーニングセンターへ通い始めたこと。見る見るうちに自分の体が変わっていくことに興味を持ち、本格的に大会を目指すようになりました。現在、石坂トレーニングセンターで週四回練習に励んでいる山田さんは、次のように話してくれました。

「ボディビルは、スポーツでもあり芸術でもあります。すぐ

れた選手になるためには、栄養面、肉体系などのたくさんの知識を持つとともに、厳しいトレーニングを積み重ねなければなりません。しかし、私は小学校の教師でプロではありませんから、仕事とのバランスをとるのが大変ですね。ただ、子供たちに「継続は力なり」と身をもって教えることができるのは教師としてラッキーですが…。それに、精神面で忍耐強くなったし、物事をプラス志向で考えられるようになりましたね。私にとってボディビルは、自分が存在するための意義となるもので、仕事とあわせて、生きていくための二本柱となっています。今後はさらに上を目指し、来年行われるアジア大会へ出場できるように頑張っていく予定です」

